



すきまキッズラボ

sukima kids lab.



概要

道にチョークで絵を描いたり、カラクリおもちゃを作ったりするなど、遊びながら創造力と表現力を育む子ども向けの屋外イベント。

開催日 2025年11月30日(日) 11:00~16:30

実施場所

東京都千代田区岩本町1-14と東神田1-1に挟まれた隙間の道(東京都下水道局管理の暗渠)

地域課題

少し薄暗く、人通りも少ないため、路上喫煙の問題に悩まされている場所。この場所を少しでも明るく、また地域に開かれた賑わいあふれる交流の場にすることを目標に実施。

活動のポイント

千代田区役所にて役目を終えたコロナ対策パーティションを活用し、オリジナルのおもちゃを用意。



来場者数 200名程度



地域課題として路上喫煙の問題があったが、イベント実施中は喫煙者は見られず、一時的ではあるものの改善の効果が確認できた。一方で、根本的な解決には1日限定のイベントだけでは限界があり、継続的な取り組みの必要性を感じた。



成果

当日は総勢約200名が小さな空間に集まり、想像をはるかに超える賑わいが生まれた。周辺に大きな公園が少ないことから、住宅街における子どもの遊び場や居場所への需要の高さも明らかになった。また、普段は顔を合わせる機会の少ない地域住民が街中に集い、同じ場を共有する光景から、この場所が「みんなの居場所」として機能していた様子が窺えた。都市部では、地方に比べて自分の住む街にどのような人々が暮らしているのかを実感しにくい傾向にあるが、こうしたウォークアブルな活動は、環境対策や防災、子育てなどにおいて地域住民がゆるやかにつながり、日常的に協力し合える関係性を育むきっかけになると感じた。



どれにしようかな～



主催

ボンドデザイン研究所
東京都立大学システムデザイン学部
インダストリアルアート学科・学域
インテリアデザインスタジオ



Tokyo Upcycle

概要

役目を終えたコロナ対策パーティションを再利用し、カバンの展示とまちづくりのアイデアを形にするワークショップを開催。

開催日 2025年12月13日(土) 11:00~16:30

実施場所

東京都千代田区有楽町2-4-11付近のガードパイプに囲われた場所(都道)

地域課題

会場は都道304線の歩道にあるガードパイプが2重に設置された場所。路上喫煙や無断駐輪、不法投棄の問題に悩まされているエリア。通り過ぎるだけの道ではなく、人が立ち寄り、滞在できる道へと転換することで、明るく開かれた空間として活用することを目標に実施。

活動のポイント

千代田区役所にて役目を終えたコロナ対策パーティションを活用し、アクリル素材特有の表現を紹介。

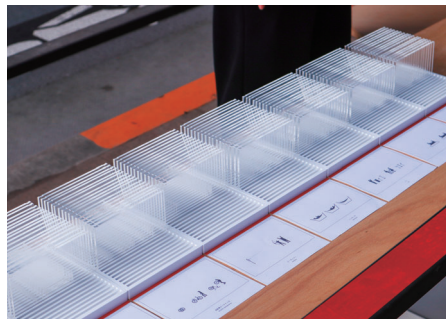
来場者数 200名程度



路上喫煙や無断駐輪、不法投棄といった行為はイベント実施中には確認されず、改善の効果が見られた。一方で、一日限定イベントの効果は一時的なものに留まるため、根本的な解決には長期的な視点での取り組みが必要であると感じた。

成果

本企画は普段から人通りの多い場所での開催となった。横断歩道の手前に位置していることから、信号待ちの時間に足を止めて作品を鑑賞する方も多く、立地の特性を活かした展示となった。また、ガードパイプで囲まれたスペースの内側に什器を設置したことで、接触トラブルもなく安全に実施でき、未活用空間としてガードパイプ内側の空間を活用する有効性を実証する結果となった。周辺には夕方から営業を開始する飲食店が多く、時間帯とともに街の賑わいが増していく様子も見られたことから、昼間の賑わいを補完する役割として本企画は丸の内という地域性にも適していると感じられた。



主催
ポンドデザイン研究所
東京都立大学システムデザイン学部
インダストリアルアート学科・学域
インテリアデザインスタジオ

